

卒業生によるボランティア活動グループ“わ”会報

情報ぎゃらりー

第42号

情報ギャラリー第42号

発行日 2008年4月25日

編集 グループ“わ”広報部

発行者 郷 肥三

発行元 NPO法人社会還元センター

グループ“わ”

TEL(078)743-8101 FAX(078)743-8103

Eメール group-wa@wa-net.jp

本部業務組織の改革案纏まる

業務刷新委員会委員長 加藤勇治(美工 10期)

わ 設立後 10 年の節目の年に当たる昨年 9 月、本部役員、部長、区会長の中から選ばれた 10 名の委員に監査役 1 名を加えた 11 名の委員から成る「業務刷新委員会」が編成され、グループ わ の事業運営全般に亘って見直しを行い、将来に繋がる基盤固めに着手することになりました。事業運営の各分野において改善すべき課題は数多くある中で、委員全員が「改革の本丸」として挙げた「本部業務組織の再編問題」に的を絞り半年間集中審議を重ねた結果、漸く以下の改革案が纏まりました。

本部業務の現状と課題

委員会で指摘された事業運営上の問題点、課題を要約すると以下のとおりです。

1. グループ わ には基本理念(ビジョン)が共有化されていない。

柱となる事業運営上の基本理念がない結果、役職員が思い通りの認識で業務に取り組んでいる。統一した目標到達点が共有化されず、取り組みがバラバラ。

2. 役員の選出基準、方法が不透明。

(1) 役員の選出は、幹部役員の人縁や裁量で選出される傾向にあるが、選定基準、方法をオープンにし、ルールの求められる。

(2) オープンな推薦制の導入が望まれる。

3. 事業運営プロセス PLAN(企画)DOC(実行)SEE(遂行管理)のPLAN(企画)とSEE(遂行管理)の側面が殆ど機能していない。

(2) 企画機能が殆ど働いていない。

年次計画はあるが長期・中期各計画、基本ビジョンがない。

新規事業開拓の企画がない。

活性化の具体策や危機管理対策が未整備

役員個々、各組織(部会、区会)が果たすべき業務の運営や処理にかかわる規定・基準が未整備
過去の取扱情報が未整備

(1) 事業遂行面でのトレースが不完全

わ が実施している各種事業計画について進捗のトレースがなされていない。

地区会、部会での事業推進面で課題解決の場がほとんどない。

イベント実施面で各ボランティアグループ間の連携、調整が組織化されていない。

グループ わ の基本理念(案)検討

定款には事業目的(第3条市民の公益増進に寄与)と実施する9つの事業(第5条)が規定されているが、「事

業運営の柱となる基本理念(基本方針・重点事項)が共有化されていない。」との反省から、委員会で議論を重ね事業運営の拠り所とすべき重点事項5項目を「基本理念(ビジョン)」として以下のとおり纏めました。(基本理念案全文は3頁を参照。)

1. 市民が真に求める事業の誠実な遂行を第一義とする。

10周年記念標語「とどけたい、あなたのもとへ、わの愛を」を合言葉に会員は市民のために様々な事業に携わっています。事業の誠実な遂行こそが最優先すべき使命であることを明記しています。市民が真に求める事業は社会経済情勢の変化に応じ時代、時代で変化します。高齢者への福祉事業に加え、子どもの健全育成に係わる事業、環境保全啓発に係わる事業のウエイトが最近高まっています。市民の目線に立った事業開拓は今後の大きな課題です。

2. 市内全域における地域住民との交流推進と地域に密着したボランティア活動の推進、定着化を図る。

設立当初から「地域交流と地域社会への貢献」が求められてきました。

区会を中核とする地域社会への貢献は今後とも力を入れるべき重点課題です。

(次のページへ続く)

一人でも多くの参加で総会を盛り上げよう

平成 20 年度 グループ わ 定期総会

開催日 ; 5月27日(火) 場所 : シルバーカレッジホール

なお総会の議案書と出欠はがきを同封します。皆様のご出席をお待ちしています。